

第4次春日井市子ども読書活動推進計画の施策事業の実施状況について（令和6年度分）

1 基本目標Ⅰ（家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進）について

市図書館においては、感染症を考慮せず、全ての事業を計画的に実施することができた。子どもやその保護者に本の楽しさや読み聞かせ大切さを伝え、読書や図書館の利用を促進する様々な取り組みによって、基本目標の進展に成果があったと考えている。

また、保育園では季節や行事に合わせた絵本の読み聞かせや、交通安全や環境指導に紙芝居を活用するなど、日々の活動の中で絵本などに親しむことができた。小中学校では、読書週間の活動や朝の一齐読書が定着し、特に中学校ではほぼ全校で年間を通して朝の一齐読書に取り組むなど、ICT教育を推進しつつも、生活の中に読書が浸透する取組がされており、いずれも基本目標の進展に成果があったと考えている。

なお、児童書及び絵本の貸出冊数は 621,130 冊で、目標値に近い実績となっている。

2 基本目標Ⅱ（市図書館などの読書環境の整備・充実）について

市図書館では、図書の購入・貸出・予約、情報提供など従来からのサービスを維持しつつ、展示・排架方法の工夫、魅力ある広報物の発行、児童洋書の積極的な購入などを行い、基本目標の進展に成果があったと考えている。

また、小中学校では、図書の追加購入、市図書館の蔵書の活用、学校図書館支援事業の活用を行うなど、基本目標の進展に成果があったと考えている。

なお、読み継がれる絵本の貸出数は 6,583 冊で、目標値を大きく超えている。

調べ学習に関する支援としては、小学校6校と中学校2校、のべ16回の団体貸出があり、目標値に近い実績となっている。

3 総括

新型コロナウイルス感染症の影響が払拭され、以前のような読書活動ができるようになったため、行動制限下の代替手段として行われていた動画配信などの事業は新たに実施しなかった。

図書館や保育・教育の現場では、年度当初の計画に沿って各事業を実施することができ、それぞれ想定していた成果を得ることができた。

全体として、令和6年度の取り組みにより、基本目標の進展に成果があったと評価している。

第 4 次春日井市子ども読書活動推進計画 令和 6 年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和 6 年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課
1 家庭 に お け る 読 書 活 動 の 推 進	(1)	乳幼児期からの家庭での読書活動の支援	ブックスタート事業	4 か月児健康診査時に、赤ちゃんと保護者に、読み聞かせを実施し、絵本等の入ったブックスタートパックを手渡す。	実施回数：54回 参加組数：2,005組	・乳児と保護者が一緒に楽しめる絵本を選書した。 ・乳児が絵本に関心を向ける様子から、4 か月での実施が適切なタイミングと考えている。	図書館
			赤ちゃんのためのおはなし会	絵本の読み聞かせ、親子のふれあい遊びや乳児向け絵本を紹介する。	文化フォーラム春日井、西部ふれあいセンター 実施回数：32回 参加者数：836人	・事業の名称からか乳児の参加が多いため、幼児の参加も促すよう、次年度から事業の名称を変更する。	図書館
			赤ちゃんのためのおはなし会	絵本の読み聞かせ、親子のふれあい遊びや乳児向け絵本を紹介する。	実施回数：12回 参加者数：201人	・行動制限の反動かコミュニケーションを求めて来館する方が多くなっているように感じたため、ボランティアや参加者同士のコミュニケーションを促す声掛けを意識した。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
			すくすく読み聞かせ会	1 歳 6 か月から就園前までの幼児を対象に、読み聞かせを行う。	実施回数：12回 参加者数：110人	・平日午前は来館者が少なく、ベピーカーでの来館でも利用しやすいため、乳幼児の読み聞かせに適していると考えている。 ・開催当日は、館内で参加を促す声掛けを行った。	図書館
			ふれあい教育セミナー	絵本の読み聞かせの仕方や絵本の選び方などについて、保護者が学ぶ講座を実施するセミナー委員会に対し支援する。	実施回数：8 回 参加者数：662人	・ふれあい教育セミナーの補助対象事業の事例として、本の読み聞かせの方法を学ぶ講座を挙げたことにより、保育園や幼稚園のセミナー委員会で絵本の読み聞かせなどが開催された。	いきがい推進課
	(2)	家読(うちどく)事業の啓発・推進【新規】	家庭に向けた情報提供	保護者等に対して読書活動の情報を提供する。	うちどく展示（児童書と一般書を取り混ぜた展示） 実施回数：2 回（8、12月） 貸出数：37セット	・児童書コーナーに一般書を展示し、セットで貸出することで、親子が家庭で読書に親しむ機会を提供した。	図書館
2 地域 に お け る 読 書 活 動 の 推 進	(3)	児童館・公民館等における読書活動の推進	絵本・紙芝居の読み聞かせ	絵本・紙芝居の読み聞かせや絵本の選び方のアドバイスを行う。 読み聞かせを通して絵本の楽しさを伝える。 お話を聞く中で豊かな情操を育む。	読み聞かせの会 実施回数：12回 参加者数：幼児94人、小学生22人、大人97人 お話の部屋 実施回数：11回 参加者数：幼児101人、小学生15人、大人90人 子育て広場 実施回数：35回 参加者数：乳児678人、大人627人	・読み聞かせの会、お話の部屋では、周囲の状況に応じ、声が聞こえやすいよう工夫にした。	交通児童遊園
			絵本・紙芝居の読み聞かせ	年齢に合った絵本の読み聞かせを行う。	実施回数：50回 参加者数：1,511人 使用絵本：177冊	・季節に合った絵本を選定した。 ・絵本の読み方を工夫し、子どもの関心をひくようにしている。 ・読み聞かせの後に絵本の紹介をした。	児童センター
			絵本・紙芝居の読み聞かせ	親子に向け、絵本・紙芝居の読み聞かせを行う。	自由来所 参加者数：5,374組 11,532人	・季節や子どもの年齢などを考慮し、絵本の内容やサイズを選定した。 ・絵本に近づいたり、内容を真似た動きをしようとするなど、子どもが絵本に関心を寄せている様子が確認できた。	子育て支援センター
			絵本・紙芝居の読み聞かせ	未就学児とその保護者を対象に読み聞かせを行う。	読み聞かせ（毎週金曜日） 実施回数：50回 参加者数：2,824人 一時預かり児読み聞かせ 参加者数：3,965人	・絵本を通して季節を感じられるよう、また子どもだけでなく、保護者も楽しめるよう選書を工夫した。 ・絵本を繰り返し読むことで、読書を習慣とすることが大切であることを伝えた。	子育て子育て総合支援館
			絵本・紙芝居の読み聞かせ	保育士などが子育て支援サロンや子育て相談を行う移動型の地域子育て支援事業	子育てサポートキャラバン隊 実施回数：110回 参加者数：3,660人（子ども1,894人、保護者 1,766人）	・当日の参加者の年齢・月齢など見て選書し、親子で楽しめるよう工夫している。	子育て推進課
			紙芝居とお話を聞く会	幼児・児童を対象に、絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊びなどを行う。	実施回数：134回 参加者数：1,370人 会場：図書館、ふれあいセンター（高蔵寺、南部）、 公民館（鷹来、坂下、中央）、グリーンパレス春日井	・読み聞かせを担当するボランティアに対し、図書館・図書室の蔵書を活用し、参加者の年齢に合った選書をするよう依頼した。 ・また、蔵書の貸出利用につながるようなPRを行った。	図書館
			紙芝居とお話を聞く会	幼児・児童を対象に、絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊びなどを行う。	実施回数：36回 参加者数：324人（子ども186人、大人138人）	・併設の児童館との兼ね合いもあり、人の流れてくる時間帯とそうでない時間帯との参加者数の差が激しいため、開催時間の検討が必要と考えている。	高蔵寺まなびと交流センター図書館

第 4 次春日井市子ども読書活動推進計画 令和 6 年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和 6 年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課
2 地 域 に お け る 読 書 活 動 の 推 進	(3)	児童館・公民館等における読書活動の推進	イベントでの読み聞かせ	公民館等でのイベント開催時に、幼児・児童を対象に、絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊びなどを行う。	子どもの部屋（中央公民館） 実施回数：2 回 参加者数：32人 夏休み子ども劇場（西部ふれあいセンター） 実施回数：1 回 参加者数：15人	・子どもの部屋について、これまで、電話受付により参加者を募集していたが、2 回目からインターネットによる募集に変更したところ、参加者が増加した。 ・夏休み子ども劇場では、会場内にクラフト等のコーナーもあるので、手元に置いてあるものに気を取られないように、読み聞かせについては、別のエリアにイスの配置する等、集中してお話を聞ける部屋作りを行った。	いきがい推進課
	(4)	放課後児童クラブ等における読書活動の推進	団体貸出	事前に登録した団体を対象に、1 回の貸出につき150冊・30日間と、個人の利用より大きな規模での利用を認め、読書活動を支援する。	貸出実績 読書団体：27団体 4,732冊 小中学校：8 校 560冊 ボランティア団体：6団体 340冊	読み聞かせの活動が再開され、貸出冊数が回復してきている。	図書館
			本・紙芝居の読み聞かせ	放課後児童クラブにおいて、本・紙芝居の読み聞かせを行う。また、読書のできる環境を作る。	子どもの家30施設での読み聞かせ 実施回数：週に3～4日	・上級生が下級生に読み聞かせを行うことで、数年先は自分たちもやってみたいという気持ちになり、自由遊び中でも友だち同士で読み聞かせて遊ぶ場面をよく見かけることが多くなっている。	社会福祉協議会 （子どもの家）
	(5)	ボランティアの活動支援	読み聞かせ研修会	ボランティア、幼稚園・保育園の職員または小・中学校の教員を対象とした、読み聞かせに関する研修を開催する。	11月19日（火）開催 参加者数：41人（内ボランティア21人）	・読み聞かせに関わるボランティアや教員、職員のスキルアップにつながるよう内容を検討する。	図書館
			ボランティアの P R	図書館ボランティアの活動を図書館内の掲示、図書館ホームページへの掲載で P R する。	紹介団体数：15団体	・各団体の活動内容の特徴が伝わるよう、掲示物等を作成した。	図書館
			ボランティアとの協働	ブックスタート、赤ちゃんのためのおはなし会、紙芝居とお話を聞く会等をボランティアと協働して実施する。	赤ちゃんのためのおはなし会（ボランティア担当分） 実施回数：9 回 参加者数：312人 紙芝居とお話を聞く会 実施回数：134回 参加者数：1,370人	・ボランティアと協働し、継続して事業を実施する。	図書館
			ボランティアとの協働	各種イベントをボランティアと協働して実施する。	赤ちゃんのためのおはなし会 実施回数：12回 参加者数：201人 紙芝居とお話を聞く会 実施回数：32回 参加者数：324人	・金曜日の開催時刻を午後 3 時開始に固定するよう見直した。 ・外国語のおはなし会を新設した。	高蔵寺まなびと 交流センター図書館
			団体貸出	事前に登録した団体を対象に、1 回の貸出につき150冊、30日間と、個人の利用より大きな規模での利用を認め、読書活動を支援する。	貸出実績 読書団体：27団体 4,732冊 小中学校：8 校 560冊 ボランティア団体：6団体 340冊	・感染症の影響が払拭され、読書団体の活動や、ボランティア団体の読み聞かせ活動の機会が増えたため、貸出冊数が回復してきている。	図書館

第 4 次春日井市子ども読書活動推進計画 令和 6 年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和 6 年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課
3 学 校 等 に お け る 読 書 活 動 の 推 進	(6)	幼稚園・保育園等での読書 機会の提供・充実	絵本・紙芝居の読み聞かせ等	毎日、絵本や紙芝居の読み聞かせを行うとともに、絵本の紹介をする。	実施園数：29園	・交通安全、環境指導、災害訓練などの際に、絵本や紙芝居などを活用して啓発を行った。（西部保育園・岩成台保育園など） ・園児の興味や関心を大切にして毎日読み聞かせを行ったところ、自ら絵本を選んで読むようになり、集中力がついた。また、絵本の文章を真似たり、感想を言い合うなど言語面での発達が伸びた。（岩成台保育園） ・絵本を通して育んだ興味や関心を日頃の遊びや行事に取り入れて楽しんだ。（西部保育園） ・梅干し作りの絵本をみて園児が興味をもったため、絵本を参考にして実際に梅干し作りに挑戦した。（桃山保育園） ・季節や行事などに合わせて選書した。（複数の保育園） ・本の内容によって置き場所を変えるなど、園児が本に親しみやすい環境づくりを行った。（複数の保育園）	各保育園
			幼稚園・保育園の特別団体貸出	コンテナボックス 1 箱分（25冊程度）の絵本等を幼稚園・保育園に貸し出し、読み聞かせ等に活用する。	2 か月 / 1 回 各園に絵本20冊、紙芝居 4 巻程度、大型絵本 1 冊を貸出 実施園数：48園 うち幼稚園 9 園、保育園34園、認定こども園 5 園	・各園で購入できる本には限りがあるので、図書館の蔵書を借りられるのは助かりますと言われている。 ・紛失や破損等があったため、図書の丁寧な取扱いについて各園に注意喚起を行った。	図書館
			読み聞かせ研修会	ボランティア、幼稚園・保育園の職員または小・中学校の教員を対象とした、読み聞かせに関する研修を開催する。	11月19日（火）開催 参加者数：41人（内ボランティア21人）	・参加者が今後のボランティア活動に活かせるよう、多種多様な絵本を準備し、研修会を実施した。	図書館
			幼稚園・保育園児及び保護者等に向けた情報提供	幼児とその保護者等に向けて図書館が推薦する図書を紹介した「じどうしつだより」を発行し、図書館で実施する行事や図書について情報を提供する。	こども図書館だより：年 4 回発行 配付先：保育園、小学校、児童センター他	・子どもたちや保護者に効果的に情報を発信するため、幼児向けと小学生向けの通信を統合し、掲載する情報を整理して、分かりやすいデザインとなるよう工夫した。	図書館
	(7)	学校での読書機会の 提供・充実	読書週間事業	読書週間を設定する。読書週間期間中に「読み聞かせ」「読書まつり」等を行う。	読書週間を設定 小学校：38校、中学校：2 校 読み聞かせ、読書集会、読書まつり等を実施 小学校：34校	・小学校では全校で読書週間を設定し、「読み聞かせ」「読書まつり」などの活動を行っており、学校での読書機会の提供が定着してきている。	学校教育課
			読書活動推進事業の支援	多読賞を実施する。学校図書館ボランティアの協力により、読み聞かせやブックトーク等を行う。	多読賞を実施 小中学校：28校 読み聞かせやブックトーク、朗読劇等を実施 小学校：32校	・各学校で活動するボランティアとの協力によって、読み聞かせ等を実施するなど、多くの学校で読書活動が推進されている。 ・読書推進のため、各学校で工夫をした取組が進められている。	学校教育課
			必読書、推薦図書の選定	必読書、推薦図書の選定を行い「学校図書館だより」などで紹介する。	必読書・推薦図書の選定し、図書館だよりの発行や専用コーナー設置することで児童生徒へ紹介 小学校：31校 中学校：15校	・全ての中学校でこれらの活動がされており、オンライン集会やお昼の放送などを活用したPRがされている。	学校教育課
			小学生、中学生、高校生に向けた情報提供	小学生向けの児童室だより、中高生向けの T C 通信（ティーンズコーナー通信）でおすすめ本を紹介する。	こども図書館だより：年 4 回発行 配付先：保育園、小学校、児童センター他 T C 通信：年 4 回発行 配付先：中学校、高校他	・子どもたちや保護者に効果的に情報を発信するため、幼児向けと小学生向けの通信を統合し、掲載する情報を整理して、分かりやすいデザインとなるよう工夫した。	図書館
			職場体験等の受入	中学校等の生徒に図書館業務を体験してもらい、図書館の存在をより身近に感じてもらうことで、参加者の読書活動を促す。	実施回数；3 回 小学生 2 人、中学生 3 人、小中学生とその保護者計17人	・職場体験や図書館見学の受入など、図書館が行っている学校支援について小中学校校長会で案内し、活用を希望する学校を募った。	図書館
			職場体験等の受入	中学校からの依頼で図書館の仕事を体験してもらい、より身近に感じてもらう。	実施回数：2 回 中学生 7 人	・図書館に興味関心のある子が多くいることが分かったので、日常の来館へとつなげていきたい。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
	(8)	一斉読書を利用した読書習慣の確立と読書時間の確保	全校一斉の朝読書	始業前の全校一斉読書や、読書週間を設けての読書を行い、学校生活での読書時間を確保する。	実施校数 小学校：36校（内 8 校がほぼ通年で実施） 中学校：15校（全校ががほぼ通年で実施） 通年実施でない学校は、読書週間活動の一環として実施	・ほとんどの学校が、朝読書を実施している。特に中学校は、全ての学校で年間を通して朝読書に取り組んでおり、読書の習慣が身についていると考えている。	学校教育課

第 4 次春日井市子ども読書活動推進計画 令和 6 年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進							
施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和 6 年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課
3 学校等における読書活動の推進	(9)	授業等での読書の活用	団体貸出	市内の小中学校に対し、1 回の貸出につき150冊、30日間と、個人の利用より大きな規模での利用を認め、読書活動を支援する。	貸出実績 小学校 6 校 380冊 中学校 2 校 180冊	・団体貸出や学校図書館ボランティア講習の講師派遣など、図書館が行っている学校支援について小中学校校長会で案内し、活用を希望する学校を募った。	図書館
			学校図書館所蔵の図書の活用	総合的な学習の時間や調べ学習等で、学校図書館所蔵の図書の利用を促進する。	・多くの小中学校で、総合的な学習の時間や国語・社会科で、調べ学習や協働学習を行い。学校図書館の資料を活用した。 ・調べ学習のテーマに合った本を一定期間教室へ貸し出したり、国語の教科書に載っている本や同一作家の本の紹介コーナーを設けたりするなど、児童の興味・関心を高められるようにした学校もあった。	・本や図鑑を活用して調べ学習をしている学校が依然多くある一方で、タブレットが導入されたことにより、調べ学習はタブレットを使う学校も増えてきている。 ・要望のある図書を購入したり、調べ学習用のコーナーを設置したりするなど、書籍に触れるきっかけを作り、本の良さが伝わりような工夫がされている。	学校教育課
4 市図書館における読書活動の推進	(10)	発達段階に応じた情報の提供や展示等の実施	年代別ブックリストの作成・情報提供	小学校向けに低・中・高学年、中学校別におすすめ本のリストを作成し、学校へ情報提供する。	令和 3 年度に小学校向け「学校支援おすすめブックリスト（11テーマ計282冊）」を配付済	・児童の学習にタブレットが導入された影響からか、学校からの団体貸出希望は減少傾向にある。	図書館
			図書館ホームページ	図書館ホームページ及び図書館ホームページ内「こどもページ」で資料検索、おすすめ本の紹介や事業案内を行う。	・通常ページとこどもページで利用案内、資料検索、予約、新刊案内などの情報を提供 ・図書館カレンダーで各種おはなし会の日程を案内 ・図書館からのお知らせで各種イベントの開催を案内 ・図書館刊行物のページで、図書館でのイベントやおすすめの本等を紹介した「図書館だより」等の定期刊行物を公開（ダウンロード可能）	・スマートフォンサイトの充実など、利用者にとって使いやすいサイトとなるよう、10月にシステム更新を行いった。 ・小学生が一人でも使えるよう、分かりやすい表現、操作としている。 ・子どもの読書週間や読書週間などの事前申込不要のイベントについても集客を増やすため、お知らせを早めに掲載するようにした。	図書館
			発達段階に応じた情報発信	じどうしつだより、児童室だより、T C通信（ティーンズコーナー通信）を作成・配布し、発達段階に応じた情報発信をする。	こども図書館だより：年 4 回発行 配付先：保育園、小学校、児童センター他 T C通信：年 4 回発行 配付先：中学校、高校他	・子どもたちや保護者に効果的に情報を発信するため、幼児向けと小学生向けの通信を統合し、掲載する情報を整理して、分かりやすいデザインとなるよう工夫した。	図書館
			ベストリーダー・ベストリクエスト	利用回数や予約回数の多い児童書ベスト30を図書館ホームページに掲載する。	毎日更新	・ベストリーダーは定番の人気本が、ベストリクエストは文学賞受賞作など話題の本がランクインする傾向がある。	図書館
	(11)	子どもが読書の楽しみに触れる機会の提供	こどもの読書週間イベント・読書週間イベント	こどもの読書週間(4 月23日～5 月12日)と読書週間（10月27日～11月 9 日）の期間に読書啓発、図書館の利用促進のためのイベントを行う。	子ども向けのイベントを実施 こどもの読書週間イベント 実施期間：4月23日～5 月12日、参加者数：449人 内容：音訳・点訳体験、ブラックパネルシアター、こども絵本くじ等 読書週間イベント 実施期間：10月27日～11月 9 日、参加者数：160人 内容：ブラインドブック、読み聞かせ駅伝、腹話術と楽しい手品等	・読書週間の期間中に分散してイベントを行うのではなく、土日にイベントを集約して開催した。	図書館
			図書の紹介展示	テーマを決め、テーマに沿った本を展示し紹介する。	企画展示 ：2 回 テーマ展示：6 回 さぼてん！：23回	・展示コーナーで紹介することで、貸出回数が増加した。テーマを設定することで、利用者の関心を引き、資料の活用につながった。	図書館
			テーマ図書の展示	季節や行事等身近なテーマを設定し、本を展示する。	随時、企画展示、スタッフ展示、書評等展示を実施	・子どもたちよりも、大人からの反響が大きい。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
			本の福袋	テーマや年齢に合わせて図書館が選書した本を袋に入れ、「本の福袋」として展示し、希望者に貸出をする。	実施日：12月27日（金）、28日（土）、1 月 4 日（土）、5 日（日） 貸出実績：17袋	・福袋が販売される時期に合わせて実施し、イベント感を出すことで、日頃は手にしないような本を読んでもらえるよう工夫した。	図書館
			子ども司書養成講座	図書館業務や読書について興味や関心を高めるため、子ども司書養成講座を開催する。	8 月 3 日(土)、10日(土) 対象：市内在住の小学校 4 年生～中学 3 年生 参加者数：10人	・参加者同士の交流が活発で、中学生が小学生をリードする様子が見られた。	図書館

第 4 次春日井市子ども読書活動推進計画 令和 6 年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和 6 年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課
4 市 図 書 館 に お け る 読 書 活 動 の 推 進	(11)	子どもが読書の楽しみに触れる機会の提供	子ども司書養成講座	子どもたちが図書館の仕事や読書について学び、業務を体験することで図書館への興味・関心を高める。	11月 4 日(月)開催 対象：小学 3 ～ 6 年生 参加者数： 7 人	・図書館を好きな子どもたちが、講座修了後に継続して活動ができる仕組みづくりを考えたい。	高蔵寺まなびと 交流センター図書館
			図書館見学	総合学習の一環として、図書館の見学を受け入れる。	小学校： 8 校 890人	・施設説明おいて、児童が興味を持てるよう努めた。	図書館
			図書館見学	小学生に授業の一環として社会見学の場を提供するとともに、図書館の利用の仕組みや本の探し方を学んでもらい、図書館利用の促進を促す。	7 校 330人	・プログラムを工夫して楽しい場所と印象付けられるよう実施した。	高蔵寺まなびと 交流センター図書館
			紙芝居とお話を聞く会	幼児・児童を対象に、絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊びなどを行う。	実施回数：134回 参加者数：1,370人 会場：図書館、ふれあいセンター（高蔵寺、南部）、 公民館（鷹来、坂下、中央）、グリーンパレス春日井	・読み聞かせを担当するボランティアの方には、図書館・図書室の蔵書を活用し、参加者の年齢に合った選書をするとともに、貸出利用につながるよう協力を仰いだ。	図書館
			紙芝居とお話を聞く会	幼児・児童を対象に、絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊びなどを行う。	実施回数：43回 参加者数：388人	・併設の児童館との兼ね合いもあり、人の流れてくる時間帯とそうでない時間帯との参加者数の差が激しく、開催時間の検討が必要だと考えている。	高蔵寺まなびと 交流センター図書館
	(12)	読書活動への奨励	読書手帳配付	読書手帳を配付し、自分の読書履歴を目にするように記載することで、読書意欲を高める。	配付冊数 読書手帳：1,794冊	・図書館見学時などに配付した。	図書館・ 高蔵寺まなびと 交流センター図書館
			小中学校読書感想文コンクール	読書感想文を募集し、優秀作品を表彰する。	応募作品：5,973点 優良作品： 48点 佳作作品： 79点 入選作品：249点	・自由応募の学校が増え、応募点数は減少傾向になる。 ・読書感想文書き方教室を開催し、感想文への取り組み方を学ぶ機会を提供した。	図書館
			小中学校読書感想画コンクール	読書感想画を募集し、優秀作品を表彰する。	応募作品：15,421点 優良作品： 83点 入選作品：830点	・作品集の作成方法を改めるなど、効率的な運用に努めた。	図書館
			読書感想文書き方教室	読書感想文の書き方、まとめ方の講座を開催する。	7 月20日(土)開催 対象 小学 1 ・ 2 年生、 3 ・ 4 年生、 5 ・ 6 年生 参加者 76人	・講師とともに本選びを楽しむ時間や、自分の感想を言葉にするための時間を設けるなど、感想文への取り組み方を学んだ。	図書館
	(13)	中学生・高校生等への学習機会の提供【新規】	調べ学習図書の活用	図書館所蔵の調べ学習図書を利用し、各学校で調べ学習を行う。	団体貸出利用数 中学校： 2 校 180冊	・図書の貸出と合わせて、授業での調べ学習の参考になるウェブサイトを紹介する機会があった。	図書館
			10代の未来さがし講座	中学生・高校生向けに本や読書に関する講座を開催する。	12月 8 日（日）開催 対象：小学 4 ～ 6 年生、中学生、高校生 参加者数：小学生12人、中学生 6 人、高校生 3 人	・中部大学と連携し講座を企画し、光る生きもの博士として知られる大場裕一教授に講師を依頼した。	図書館
	(14)	ボランティア等の学習機会の提供	読み聞かせ研修会	ボランティア、幼稚園・保育園の職員または小・中学校の教員を対象とした、読み聞かせに関する研修を開催する。	11月19日（火）開催 参加者数：41人（内ボランティア21人）	・参加者がいろいろな絵本に触れられるように、多数の絵本を用意した。	図書館

第 4 次春日井市子ども読書活動推進計画 令和 6 年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅰ 家庭・地域・学校・市図書館における読書活動の推進

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和 6 年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課
4 市 図 書 館 に お け る 読 書 活 動 の 推 進	(15)	ボランティアの活動支援・育成	ボランティアの P R	図書館ボランティアの活動を図書館内の掲示、図書館ホームページへの掲載で P R する。	紹介団体数：15団体	・館内掲示やホームページにおけるボランティアグループの活動内容の説明を整えた。	図書館
			団体貸出	事前に登録した団体を対象に、1 回の貸出につき150冊、30日間と、個人の利用より大きな規模での利用を認め、読書活動を支援する。	貸出実績 ボランティア団体：6 団体 340冊 読書団体：29団体 4,732冊 小中学校：8 校 560冊	・読み聞かせの活動が活発になり、貸出冊数が回復してきた。	図書館
			図書館読み聞かせボランティア養成講座	絵本の読み方などを学ぶ講座を開催し、図書館読み聞かせボランティアとして活動する読み手を養成する。	6月20日（木）、27日（木）、7月4日（水）開催 参加者数：8 人 内4人がボランティアグループに加入	・受講者が既存のボランティアグループと条件等でマッチングできず、活動を開始できない場合の対処が今後の課題である。	図書館
			音訳技術講習会（初級編）	市民を対象に、音訳に必要な基礎的な知識・技術を学ぶ講習会を実施することで、音訳ボランティア活動への参加を促す。	全12回講座（6月～9月） 参加者数：3 人	・音訳技術者の育成は、当館の障がい者サービスの根幹となるため、継続する必要があると考える。	図書館
			音訳デジタル録音技術講習会	音訳ボランティアとして活動している方を対象に、デイジー図書を製作するために必要な知識・技術及びその工程を学ぶ講習会を開催し、当館に所蔵するデイジー図書を製作する担い手を育成する。	10月10日（木）、17日（木）開催 参加者数：延べ39人	・音訳技術者の育成は、当館の障がい者サービスの根幹となるため、継続する必要があると考える。	図書館
	(16)	ボランティア等との協働・連携	ボランティアとの協働	ブックスタート、赤ちゃんのためのおはなし会、紙芝居とお話を聞く会等をボランティアと協働して実施する。	赤ちゃんのためのおはなし会（ボランティア担当分） 実施回数：9 回 参加者数：312人 紙芝居とお話を聞く会 実施回数：134回 参加者数：1,370人	・ボランティアと良好な関係を維持し、継続して事業を行ってきたい。	図書館
			ボランティアとの連携	図書館事業の企画等について、意見交換会等をとoshi、ボランティア団体と定期的に情報交換を行う。	ボランティア意見交換会 1 回目：8 月25日(日) 13団体17人出席 2 回目：2 月16日(日) 9 団体13人出席 こども読書週間、読書週間のイベントに協力 デイジー図書・点字図書の製作や対面読書を実施	・図書館の事業はボランティアの協力が不可欠な部分も少ない。 ・ボランティアと協働することで、利用者により良いサービス提供することができた。	図書館
	(17)	中学生・高校生の意見聴取	ティーンズ世代向けアンケート	中高生の意見を取り入れながらサービスの充実を図る。	ティーンズコーナーに意見等の投稿ポストを設置 子ども司書養成講座受講者にアンケートを実施 職場体験学習の受入れの際に意見聞き取り	・職場体験学習の中学生から、ティーンズコーナーをよく利用しているとの声があった。 ・中高生にとって魅力的な書架づくりを継続したい。	図書館

第 4 次春日井市子ども読書活動推進計画 令和 6 年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅱ 市図書館などの読書環境の整備・充実

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和 6 年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課
5 市 図 書 館 ・ 図 書 室 の 整 備 ・ 充 実	(18)	市図書館・図書室の資料の充実	計画的な図書購入	各図書館・図書室の間で隔たりが出ないよう、一定の割合で新しくなるように、計画的な図書の購入を図る。	購入数・購入費 図書館 7,482冊 17,215,880円 高蔵寺まなびと交流 センター図書館 4,042冊 8,155,408円 図書室 9 室 4,514冊 8,256,528円 合計 16,038冊 33,627,816円	・児童書に関しては、人気の絵本・児童書が古くなってきていることを踏まえ、複本購入をし、汚損本を中心に除籍を行った。 ・障がいのある有無に関わらず楽しめるユニバーサル絵本を購入し、読書機会を広げる資料構成に努めた。	図書館
	(19)	レファレンスサービスの充実	図書館のレファレンス	図書館資料の問い合わせに対し、適切な支援を行う。	レファレンス件数：540件	・レファレンス記録様式を一新し、事例の蓄積によるサービスの向上に努めた。 ・国立国会図書館が取りまとめているレファレンス協同データベースへ次年度から加入する。	図書館
	(20)	ホームページの充実	図書館ホームページ	図書館ホームページ及び図書館ホームページ内「こどもページ」で資料検索、おすすめ本の紹介や事業案内を行う。	・一般用ページとこどもページ分けて作成し、それぞれで利用案内、資料検索、予約、新刊案内などの情報を提供 ・トップページに図書館カレンダーを掲載し、各種おはなし会の日程を案内 ・行事・展示の 카테고리 を設け、子ども向け講座やテーマ展示などの情報を掲載 ・図書館刊行物の 카테고리 に、図書館でのイベントやおすすめの本等を紹介した「図書館だより」「ＴＣ通信」等の定期刊行物（PDFデータ）を掲載	・図書館システムの改修にあわせて、ホームページも改修し、スマートフォンからも使いやすいような仕様とした。 ・トップページにイベント情報を見やすく表示させることで、より幅広い利用者にPRすることができた。	図書館
			インターネット予約	来館することなくパソコンや携帯電話から図書館資料を予約できるサービスを行う。	予約件数：220,239件	・最新のニュースにあわせて、予約される利用者が多くっており、マイページが活用されている状況がうかがわれる。	図書館
			ベストリーダー・ベストリクエスト	利用回数や予約回数の多い児童書ベスト30を図書館ホームページに掲載する。	毎日更新	・ベストリーダーは定番の人気本が、ベストリクエストは新しい本や話題の本がランクインする傾向がある。	図書館
	(21)	ティーンズコーナーの充実	ティーンズコーナー	中高生のニーズに合った図書館資料を児童書、一般書から選びティーンズコーナーに配架する。	蔵書数：6,927冊	・ＴＣ通信と連携した展示コーナー設け、幅広い本の紹介を行った。 ・利用者からお勧め本の「紹介カード」を募り、それを展示することで、利用者目線のＰＲも行った。	図書館
			ティーンズコーナー	中学校・高校生の利用促進を図るため、図書館資料の中から中高生のニーズにあった資料を集めたティーンズコーナーを児童書コーナー、一般書コーナーとは別に設置し、充実を図る。	蔵書数：5,443冊	・資料があるだけでは効果が薄いので、来てもらうきっかけづくりをしていきたい。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
			ＴＣ通信（ティーンズコーナー通信）の発行	ＴＣ通信で、中高生におすすめ本の紹介をする。	発行数：年 4 回 配付先：中学校、高校他 令和 5 年 5 月号から現役高校生による本の紹介を掲載している。	・春日井高等学校と連携し、高校生による本の紹介コーナーを新設したことで、対象と同世代の生徒が推薦する本の紹介を掲載することができた。	図書館
	(22)	障がいのある子どもへのサービスの充実	障がい児向けの図書の提供	デイジー図書、点字図書、大活字図書、ＬＬブック等の貸し出しを行う。	製作数 デイジー図書：39種 点字データ：69種 貸出実績 デイジー図書：43回 点字図書（点字データ含む）：36回 大活字本：15,977回 LLブック：60回	・新たにサビエ図書館に加入しサービスを提供できるよう、準備を進めた。	図書館
			やさしい日本語表記による情報の提供	伝える相手に分かりやすい日本語表記による案内・情報提供を行う。	やさしい日本語による利用案内をホームページに掲載	・一般用、子ども用に加えて、やさしい日本語で案内する「かんたん操作ページ」を設け、障がいのある利用者にも使いやすいホームページとなるよう努めた。	図書館

第 4 次春日井市子ども読書活動推進計画 令和 6 年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅱ 市図書館などの読書環境の整備・充実

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和 6 年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課
5 市 図 書 館 ・ 実 図 書 室 の 整 備 ・ 充	(23)	外国語資料等の収集と情報提供	外国語資料の収集	子ども向け外国語資料の収集、貸し出しを行う。	蔵書数 外国児童書：657冊 外国絵本：2,273冊 購入数 123冊	・児童洋書の販売があれば、積極的に収集した。	図書館
			やさしい日本語表記による情報の提供	伝える相手に分かりやすい日本語表記による案内・情報提供を行う。	やさしい日本語による利用案内をホームページに掲載	・一般用、子ども用に加えて、やさしい日本語で案内する「かんたん操作ページ」を設け、日常的に日本語を使用しない方にも使いやすいホームページを設けている。	図書館
	(24)	子どもや子育て世代向けのコーナーの充実【新規】	読み継がれる絵本コーナーの充実	読み継がれる絵本コーナーの充実と利用促進を図る。	所蔵タイトル数：240タイトル 貸出回数：6,583回	・コンセプトと基準を見直し、構成を改めている。	図書館
			読み継がれ絵本コーナーの充実	読み継がれ絵本コーナーの充実と利用促進を図る。	図書館だよりへの紹介資料の展示を 5 か所、 2 か月に一度の周期でおこなった。	・定期的に見直し、入れ替えが必要。	高蔵寺まなびと交流センター図書館
	(25)	読み聞かせ動画の配信【新規】	読み聞かせ動画の配信	「春日井のむかし話」の読み聞かせ動画を配信する。	14タイトル配信継続中	・引き続き公開しているが、新たな動画制作の必要性は低いと考えている。	図書館
	(26)	電子書籍についての調査研究【新規】	電子書籍導入についての調査研究	電子書籍を導入した場合の有効性等について調査研究する。	電子図書館について、調査・研究を継続。	・導入から数年が経過した他館では、継続について賛否があるとの情報があり、引き続き調査研究を行っていく。	図書館
6 学 校 図 書 館 の 整 備 ・ 充 実	(27)	読書を楽しめる学校図書館の環境づくり	魅力ある学校図書館への環境づくり	子ども・学校図書館ボランティア・教諭が連携協力し、魅力ある学校図書館づくりを推進する。	連携協力して、学校の読書環境づくりを実施 小学校：31校 中学校：10校	・図書館ボランティアなどを中心に、多くの学校が地域と家庭との連携を進めている。	学校教育課
			学校図書館運営の支援	学校図書館ボランティア等の協力により、図書の貸出・返却業務や配架、本の修繕を行う。	新刊本の表装、図書の整理、図書の修繕、廊下の掲示物作成 小学校：22校 中学校： 3 校	・令和 5 年度に比べ、中学校で微増した。	学校教育課
	(28)	計画的な図書の整備	学校図書館整備事業	すべての学校図書館の図書標準の充足率が 100%となるよう計画的に図書を整備する。	図書充足率 小学校：100%以上28校、100%未満 9 校 中学校：100%以上10校、100%未満 5 校 図書購入数 小学校：10,075冊 中学校：4,803冊 蔵書数 小学校：388,099冊 中学校：217,252冊	小中学校で、学級数ごとに設定されている基準冊数を満たしていない学校が十数校あったため、特に充足率の低い小学校10校に対し、追加で図書を購入するなど、図書室の整備を進めた。	教育総務課

第 4 次春日井市子ども読書活動推進計画 令和 6 年度事業実施状況一覧

基本目標Ⅱ 市図書館などの読書環境の整備・充実

施策	No.	具体的な取組	事業名	事業内容	令和 6 年度実績	気づいたこと・感じたこと・工夫したことなど	担当課
7 家庭、 地域、 学校等 相互及 び図書 館等の 連携	(29)	家庭・地域と学校図書館の連携	魅力ある学校図書館への環境づくり	子ども・学校図書館ボランティア・教諭が連携協力し、魅力ある学校図書館づくりを推進する。	連携協力して、学校の読書環境づくりを実施 小学校：31校 中学校：10校	・図書館ボランティアなどを中心に、多くの学校が地域と家庭との連携し、読書環境の整備を行っている。	学校教育課
			読書活動推進事業の支援	多読賞を実施する。学校図書館ボランティアの協力により、読み聞かせやブックトーク等を行う。	多読賞の実施 小中学校：28校 読み聞かせやブックトーク、朗読劇などの実施 小学校：32校	・多くの小学校でボランティアの協力による読み聞かせなどが進められるなど、各校で様々な工夫した取り組みがみられる。	学校教育課
			必読書、推薦図書の選定	必読書、推薦図書の選定を行い「学校図書館だより」などで紹介する。	必読書・推薦図書を選定し、図書館だより・専用コーナー設置で紹介 小学校：31校 中学校：15校	・中学校での取り組みが増え、ほぼ全校での実施となった。 ・印刷物に代わり、オンラインの活用も増加している。	学校教育課
	(30)	市図書館と学校等の連携	団体貸出	市内の小中学校に対し、1 回の貸出につき150 冊、30日間と、個人の利用より大きな規模での利用を認め、読書活動を支援する。	貸出実績 小学校 6 校 380冊 中学校 2 校 180冊	・団体貸出や学校図書館ボランティア講習の講師派遣など、図書館が行っている学校支援について小中学校校長会で案内し、活用を希望する学校を募った。	図書館
			年代別ブックリストの作成・情報提供	小学校向けに低・中・高学年、中学校別におすすめ本のリストを作成し、学校へ情報提供する。	令和 3 年度に小学校向け「学校支援おすすめブックリスト（11テーマ計282冊）」を配付済	・児童の学習にタブレットが導入された影響もあり、学校からの貸出依頼は減少傾向にある。	図書館
		市図書館と学校等の連携	リサイクル本の活用	図書館で除籍になった本を学校図書館等で有効利用する。	リサイクル会を実施した。 日時：11月28日（木） 参加者：市関係：4 課・施設 小学校：3 校 幼稚園・保育園・認定こども園：29園 民間児童クラブ等：11団体 提供数：1,722冊	・小学校等と調整し日程を決定するなど、貴重な資料の活用につながるような形で実施した。 ・公立だけでなく、民間の児童クラブ始め子育て支援に関わる団体に幅広く参加を呼び掛けた。	図書館
	(31)	市図書館と図書室の連携	図書館・図書室間の資料搬送	身近な図書室で図書等の貸出・返却ができるよう、毎週火・木・土曜日に図書館と図書室を巡回し、図書等の搬送をする。	巡回日数：157日	・多くの利用者から他館（他図書室）所蔵資料にリクエストされるなど、巡回搬送は広く認知されている。 ・マイページで予約・搬送状況を確認することもでき、利用者のニーズに合ったサービスを提供することができている。	図書館
			図書館と図書室の情報交換	定期的に各図書室担当者と利用方法などの情報交換する。	・グルッポふじとう図書館連絡調整会議：月 1 回開催 ・事務担当者連絡会議を年 1 回開催	・グルッポふじとう図書館との連絡調整会議をグルッポふじとう図書館でも開催し、春日井市図書館の職員がグルッポふじとう図書館から学ぶ機会を作った。	図書館
	(32)	他公立図書館等との連携	他公立図書館等との連携	他公立図書館や大学図書館との情報交換や図書等の相互貸借等をとおして連携する。	相互貸借 借受：1,018件 1,677冊 貸出：1,000件 1,304冊 遠隔複写依頼件数：1 件	・当館は、県内の公立図書館のなかで、借受・貸出とも上位10位以内に入るなど、積極的に活用されている。	図書館

3 施策の体系

